

JARL

香川クラブ報

No. 333 平成16年2月15日



J A 5 Y D E

通常総会のご案内

今年度早々、アマチュア無線界の重鎮である J A 5 A G 太田 OM の訃報に接しショッキングな幕開けとなり、その後も J A 5 B Q L 板坂 OM、J R 5 M P O 今村 OM とクラブの大先輩を亡くし辛い一年でした。あらためてご冥福をお祈りいたします。

クラブとしては、クラブミーティング。オール J A 5 コンテストや香川マラソンコンテストその他 J A R L の主要コンテストへの参加。フィールドミーティングではボーリング大会とスキーツアー。全日本大会を始め各 A R D F 大会への参加や忘年会などアクティブに活動できたのではないかと思います。

が、各種行事への参加者の顔ぶれはほとんど同じのようです。いろいろとお忙しいとは思いますが、ぜひどれか一つからでも参加するようにしてみても如何でしょうか。また、今まで参加したことのない行事やご無沙汰気味の行事に参加することで、新たな人生の発見や人との出会い、思い出が得られるのではないのでしょうか。

B S E (狂牛病)、S A R S (新型肺炎)、鳥インフルエンザに鯉ヘルペスと、最近とんでもない病気が次々と問題になっています。牛井屋さんやお肉屋さんなどは死活問題にもなる深刻な状況に陥っています。日本における食糧自給率が 30 数パーセントという現状を真剣に考えないと、とんでもない事態に陥るのではないかと懸念しております。

イラク問題では、ついに自衛隊の陸上部隊がアメリカが始めた不正義の戦争に荷担すべく派遣されることになりました。マスコミや有識者とと言われる偽善者達は被害ばかりを強調していますが、それ以外に戦場ストレスに陥り人間が壊れたり、恐怖によって罪もない人や仲間さえ殺すことになるということを知るべきだと思います。

国際協力という意味を履き違えているとしか思えません。戦争を放棄している憲法を誇りとし、平和で文明の進んだ豊かな国とし、世界から紛争を無くし穏やかな地球づくりの先駆者になるべく努力すべき立場にあるし、その資格を持った日本をあえて悪魔の戦争に突入させている今の政治はいったい何なんでしょうか。

平成 15 年度も残すところ後わずかとなりました。そこで、クラブの通常総会を下記のとおりおこないます。年度末の大変お忙しい時期ではありますが、趣味の会ですので役員任せにするのではなく会員一人一人が積極的に参加するクラブであるためにも万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようお願いいたします。

なお、出席の有無に関わらず同封しております葉書(欠席の場合は委任状)に近況などをご記入の上必ずご返送下さいますようお願いいたします。

記

日時：平成 16 年 3 月 28 日(日)

13:30~15:30

場所：高松市三谷町

三好事務所(右図)

- 議題：1. 平成 15 年度事業報告
2. 平成 15 年度会計報告
3. 役員改正
4. 平成 16 年度事業計画案
5. その他



大盛況の忘年会

12月27日に恒例の忘年会が「いもたこなんきん本舗」において開催されました。年末の土曜日と言うこともあって集合時間の前には参加者全員が早々と勢揃い。「全員揃ったからもう始めようか」と少し早めの開会となりました。

J A 5 A H M天野会長から亡くなった会員の方への哀悼やJ A 5 A G太田OMの遺品整理の報告、その他今年一年の総括を兼ねたあいさつがありました。続いて、J A 5 M G稲毛J A R L四国本部長がJ A R Lの近況や電波型式の変更などにも触れたあいさつがあり、いよいよ酒宴へと移りました。乾杯の音頭がJ H 5 P M Z多田OMに振られると、一瞬戸惑っていましたがそこは百戦錬磨、うだうだ言わずクラブの発展と会員各位の健康を祈念して乾杯の音頭をとりました。



乾杯が終わると、早速席はばらけてそれぞれ膝をつき合わせ無線談義に花が咲き、年明けに予定されているフィールドミーティングのスキーツアーやA R D Fにマラソンコンテストなどあちらこちらで盛り上がり、話は尽きません。



あっという間は時間が過ぎ去り、お店から催促され、ししぶお開きとなりました。最後にみんなで記念写真(表紙の写真)を撮り、J H 5 L Y W三好副会長の中締めの乾杯で2時間あまりの楽しい年の瀬恒例の行事は盛会のうちに終了しました。

その後、一部を除き2次会へと繰り出しカラオケやおしゃべりに時間も忘れ楽しんでいました。後からお店に来たY Lさん達と意気投合。デュエットやダンスをしたりと、一年の垢をすっかり落としていました。

みなさん家にたどり着いたのは何時になったのでしょうか？

2004年も会員のみなさんにとって良い年でありますようにお祈りしております。

〈参加者〉 JA5AHM/JA5MG/JH5LYW/JH5PMZ/JH5WMN/JR5GLO
JE5BYS/JE5PBO/JF5ICA/JG5OBX/JI5XTP

**J A 5 A G追悼集がまだ若干余っております。
希望者がいましたら差し上げますのでご連絡下さい。
連絡先：J H 5 L Y W**

クラブ員多数がコンテストに参加

香川マラソンコンテスト集計表

去る12月1日から15日まで、JARL香川県支部主催で開催された香川マラソンコンテストにおいて、JAYSDEは右表のとおり運用を行いました。

社団マルチの部において第2位の成績でした。

運用に協力いただいたオペレータの各局、サービスいただいたクラブ員各局にはお疲れさまでした。

日付	交信数	区			分	
		バンド	局数	地域マルチ	モード	局数
1日	20					
2日	9	1.9MHz	3	1		
3日	9	3.5MHz	9	4		
4日	8	7MHz	12	3	C W	27
5日	5	14MHz	8	4		
6日	2	21MHz	12	4	S S B	57
7日	13	28MHz	12	4		
8日	7	50MHz	15	6	F M	108
9日	5	144MHz	39	10		
10日	5	430MHz	54	10		
11日	24	1200MHz	13	6		
12日	34	交信局数 地域マルチ 日数マルチ				
13日	1	合計 177 × (52 + 15) = 11,859				
14日	1	(総交信局数 192 局、県外局とダブリを除く有効局数 177 局)				
15日	49	OP: JA5AHM/JA5TFJ/JH5LYW/JR5EHB/JF5ICA/JF5ICB/JG5OBX/JI5XTP				

なお、クラブ員で個人の部において入賞された方々のお知らせをします。

マルチバンド・マルチモードの部	第2位	JH5LYW
3.5MHz 電信電話の部	第1位	JA5AHM
7MHz 電信電話の部	第1位	JA5TFJ
14MHz 電信の部	第1位	JH5EZB
21MHz 電信の部	第1位	JR5EHB
430MHz 電信電話の部	第4位	JI5SAO
1200MHz 電信の部	第1位	JH5PMZ

以上、7局の方が入賞されました。各局おめでとうございます。

近年、毎年言っていますがレベルが低下し参加者も減っています。誰もエントリーのない部門もたくさんあります。今年からコンテスト参加者に対する参加記念賞の対象日数が12日から10日に軽減され、チャンスが増えています。

今年の総参加者は73局で、クラブ員でログ提出者は10名でした。(昨年は15名) ぜひ、次回は今年以上の参加者がいることを期待しています。

また、昨年7月19・20日に開催されました「オールJA5コンテスト」において、

「JA5YDE」は社団の部香川県第1位で入賞しました。

個人の部門におきましては下記の方々が入賞しております。

3.5MHz 電信の部	香川県第1位	JH5LYW
21MHz 電信の部	四国第1位	JR5EHB
430MHz 電信電話の部	香川県第1位	JI5SAO

コンテストに参加したことがないとかビギナーの局にとっては「香川マラソンコンテスト」とか「オールJA5コンテスト」は馴染みやすく参加しやすいコンテストです。アクティビティ向上のためぜひこれらのコンテストに参加するようにしましょう。

J A 5 A G と最後のお別れ

J H 5 L Y W

J A 5 A G 太田 OM が、昨年 4 月 3 日に天寿を全うされこの世を去りました。その後、亡き太田 OM を偲んでクラブ内外から OM を悼むメッセージと思い出の写真が多数寄せられ、9 月に「J A 5 A G を偲ぶ」と題した追悼集（クラブ報第 330 号号）が編集各位のご努力により発行されました。

OM が大切に保存していた資料や数々の遺品は、遺族の希望により J A R L に寄付することと、天野会長 (JA5AHM) と稲毛地方本部長 (JA5MG) が整理し処理されました。その際、アンテナ及びタワーの処分について相談があり「善処しましょう」と言うことで、昨年 11 月 12 日のクラブミーティングにおいて天野会長から提案されました。

「太田 OM は J A R L 香川クラブだけでなく、香川県や四国地方に止まらずアマチュア無線界全体のために尽くしてこられた方だから、各方面に声をかけて見ては」と言うことになり推移を見守りながら検討することになりました。

その後「アンテナが折れてぶらさがった状態だし、太田 OM も心残りだろうから早急に撤去しよう」と有志で相談がまとまりました。各自の仕事の都合や段取りで 12 月 6 日の午後に作業を行うことに決定し、後はお天気次第となりました。事前に天野会長から遺族の方と連絡を取ってもらい、留守中の作業なので近所へのお知らせや周辺田畑へのご迷惑、商用電源の確保などをお願いしました。

いよいよ作業の日です。前日の雨が早朝はまだ残っていましたが、その後は徐々に回復してきました。当初予定より早く撤去隊の作業隊長 J F 5

I C A 向井 OM の集合合図のもと副隊長の J I 5 X T P 坂内 OM と隊員の私が召集されました。現地に着くとすでにタワーには向井 OM が上っており、あったはずの H F アンテナが下ろされていました。「午後から仕事があるから手取り早くやろう」と上から向井 OM の一声で作業が開始されました。



11 時 50 分作業に入り、私がタワー頂上部にロープを掛けに上がっている間に、下では着々と倒すための綿密な計算と工具類が準備されていました。いよいよタワーを倒しま

す。向井 OM と私が双方でロープを引き、坂内 OM がタワー中段

でカッターを自在に操り切断。3 人のあ・うんの呼吸でゆっくりとロープを緩めていきました。

向井 OM の計算は一分の狂いもなく農道の中央へ倒れ、田畑や家屋などを傷めることなく作業の 7 割と言っても過言でないタワーの上部を倒すことができました。後は足場のしっかりした場所での作業。



坂内OMの見事なカッターさばきで、長いもので 1.5m、短いのは 50cm ほどにまでカットされていきました。

「どうせやるならとことんやるぞ」と向井OMの几帳面な性格を改めて思い知らされたのは切り取ったタワーの後をモルタルで塞ぎ、タワーがあった形跡さえ無いほど完璧に終わらせたことです。以前 J A 5 I Q P 合田口OMのタワーを倒したときも鮮やかでしたが、今回もその仕上げに感服しました。

ビニールテープの切れ端まで片付け私の軽トラックに積み込んだときは「たったこれだけの量」と目を疑うほどで、撤去作業の終了時間は 13 時 10 分でした。

予定が 13 時からだったので「誰か遅れてくる人がいるといけないから」と 15 分ほど待ってから引き上げ、途中で少し休憩をしてそれぞれ本来の仕事に戻りました。

廃材は J H 5 P M Z 多田OMのご厚意により処理してくれるとのことで、川部町まで運搬し一人で片付けていると突如の雨風。しばらく軒下で待機しながら「怪我もなく早く終わって良かった」とつくづく思いました。16 時過ぎに廃材も片付け、全ての作業を完了し家路に着く頃はもう暗くなりかけていました。



これで、太田OMも一安心してくれていることだろうと思うと、在りし日のOMの笑顔が浮かんできました。

また、今日の作業に積極的に協力して下さった向井OM、坂内OM。段取りや廃材処分を快く引き受けて下さった天野会長、多田OMには何の報酬もなく、労いもないのに本当にご苦労さまでした。また、私が言うことではないのですが間接的に応援、ご心配頂いた会員の方々にもお礼申し上げます。

特に作業に協力いただいた向井OM、坂内OMは太田OMを知らない世代です。

J A R L 関係役員や太田OMに直接間接的に世話になった人で「爪の垢でも煎じて吞ませたい人」はたくさんいるのですが…。

ハムフェスティバル in 香川に参加を！

J A R L 香川県支部主催「ハムフェスティバル in 香川」が下記のとおり開催されます。今年は久しぶりに小豆島で開催されます。

日時：3月14日(日)12:30～15:00(受付は11:00～13:30まで)

会場：内海町「サン・オリーブ」

国道 436 号線「道の駅・小豆島オリーブ公園内」

交通手段：往路／内海フェリー・ブルーライン**高松港発=09:30** 左記の船便に限り送迎バスが
復路／内海フェリー・ブルーライン**草壁港発=16:15** ご利用いただけます。

いろいろな趣向が計画されているようなので楽しみですね。
ローカル各局誘い合わせの上、観光も兼ねてたくさんで参加しましょう。

アマチュア局の電波形式の改正と 一括記載コードの導入について

すでにご存じの方もおられると思いますが、アマチュア無線局の電波形式が 2004 年 1 月 13 日をもって 20 年振りに改正されその制度が施行されました。

近年アマチュア無線でも、従来の音声や電信といった通信だけでなく、コンピュータを活用したデータ電送や ATV、デジタル多重などの広帯域通信、またデジタル変調方式の導入など、伝送技術、変調技術の多様化や高度化が行われています。

こうした通信技術に対応できるように、総務省はアマチュア局で使用している電波形式の表示方法の変更、運用緩和など、電波法関係規則などの改正が行われました。
(別表 1)

また、新たに無線局免許手続き及び記載の簡素化を図るために「一括記載コード」が導入されました。(別表 2)

今から再免許や変更申請をする人は良く改正点を理解して申請するようにして下さい。

また、家族や知いの方で新規開局申請をする人も同じです。

簡素化と言いながら、電波型式が細分化されたことにより非常にややこしくなっています。慣れるまでに戸惑うことも多々あると存じますが、できればハムショップで相談に乗ってもらおうとか、今回の改正点を十分に理解している OM さんに良く相談してミスの無いようにして下さい。

また、再免許の申請受付期間が「免許の有効期間満了前 1 ヶ月前まで」となっていたのが、「免許の有効期間満了前 1 ヶ月以上 1 年を越えない期間」と変更されました。

(例)免許の有効期間が 2005 年 10 月 10 日の場合

2004 年 10 月 10 日から 2005 年 9 月 9 日までの間に再免許申請することになります。この期間より早ければ受け付けてもらえないし、遅ければ失効することになりますので十分に注意して下さい。

詳細は、JARL ニュース 2003 年 11・12 月合併号 10～13 ページ又は C Q 誌 2004 年 1 月号

(別表 1) 主な電波形式の新旧比較一覧表			
旧形式	新形式	主要な変調方式例	主な用途例(備考)
A1	A1A	両側波帯(ASK)	モールス符号電信(4アマを除く)
A2	A2A	両側波帯(AM)	可聴変調波を使用するモールス符号電信(4アマを除く)
	A2B	両側波帯(AM)	自動受信でのモールス符号以外の電信
	A2D	両側波帯(AM)	データ通信
A3	A3E	両側波帯(DSB)	DSB 電話(抑圧搬送波 DSB 電話を含む)
A3A	R3E	低減搬送波(SSB)	SSB 電話
A3H	H3E	全搬送波(SSB)	SSB 電話
A3J	J3E	抑圧搬送波(SSB)	SSB 電話
A4	A3C	両側波帯(DSB)	AM ファクシミリ
A5	A3F	両側波帯(DSB)	AM テレビジョン(映像のみ, ATV)
A5C	C3F	残留側波帯(VSB)	AM テレビジョン(映像のみ, SSTV)
A5J	J3F	抑圧搬送波(SSB)	低速走査テレビジョン
A9	A8W	両側波帯	AM 多重テレビジョン(音声を含む TV 等)
A9C	C8W	残留側波帯	AM 多重テレビジョン(音声を含む TV 等)
F1	F1B	周波数(FSK)	モールス符号以外の電信(RTTY 等)
	F1D	周波数(FSK)	データ通信(FM パケット通信等)
	G1B	位相変調(PSK)	モールス符号以外の電信(PSK31 等)
	G1D	周波数(PSK)	データ通信(PM パケット通信等)
F2	F2A	周波数変調(FM)	可聴変調波を使用するモールス符号電信(4アマを除く)
	F2B	周波数変調(FM)	可聴変調波を使用するモールス符号以外の電信
	F2D	周波数変調(FM)	可聴変調波を使用するデータ通信(FM パケット通信, DTMF トーン等)
	F3E	周波数変調(FM)	FM 電話(FM トランシーバ)
F3	F1E	周波数変調(FSK)	デジタル電話(GMSK 電話等)
	G1E	位相変調(PSK)	デジタル電話(多値 PSK 電話等)
F4	F3C	周波数変調(FM)	FM ファクシミリ
F5	F3F	周波数変調(FM)	FM テレビジョン(映像のみ)
F9	F7D	周波数変調	FM 多重データ通信
	F8W	周波数変調	FM 多重テレビジョン(音声を含む TV 等)
	G7D	位相変調(PSK)	多重データ通信
	D3C	振幅変調と角度変調の組合せ	ミニファックス(AM, PM, VSB の組合せ)
	D7D	振幅変調と角度変調の組合せ	多重データ通信(多値 QAM 等)

別冊、総務省ホームページ「http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030731_2.html」を参照。

(別表2) 新旧電波形式と一括記載コードの関係																
一括記載コード		A1A	2HC	2HA	3HD	4HD	3HA	4HA	3VA	3VF	4VA	4VF	3SA	3SF	4SA	4SF
周波数帯	1.9MHz帯		10MHz帯	14MHz帯	3.8MHz帯		3.5MHz帯		28MHz帯				1.2GHz帯			
	4.6MHz帯						7MHz帯		52MHz帯				2.4GHz帯			
	電波形式						18MHz帯		145MHz帯				5.7GHz帯			
旧形式	新形式						21MHz帯		435MHz帯				10.1GHz帯			
							24MHz帯						10.4GHz帯			
A1	A1A	○	○	○	○		○		○				○			
A2	A2A								○				○			
	A2B								○				○			
	A2D								○				○			
A3	A3E			○	○	○	○	○	○		○		○		○	
A3A	R3E			○	○	○	○	○	○		○		○		○	
A3H	H3E			○	○	○	○	○	○		○		○		○	
A3I	I3E			○	○	○	○	○	○		○		○		○	
A4	A3C			○	○	○	○	○	○		○		○		○	
A5	A3F												○		○	
A5C	C3F												○		○	
A5I	I3F			○	○	○	○	○	○		○		○		○	
A9	A8W												○		○	
A9C	C8W												○		○	
F1	F1B		○	○			○	○(註)	○		○(註)		○		○(註)	
	F1D		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	G1B		○	○			○	○(註)	○		○(註)		○		○(註)	
	G1D		○	○			○	○	○		○		○		○	
F2	F2A								○	○			○	○		
	F2B								○	○			○	○		
	F2D								○	○	○	○	○	○	○	○
F3	F3E								○	○	○	○	○	○	○	○
	F1E								○	○	○	○	○	○	○	○
	G1E								○		○		○		○	
F4	F3C			○	○	○	○	○	○		○		○		○	
F5	F3F			○	○	○	○	○	○		○		○		○	
F9	F7D												○		○	
	F8W								○		○		○		○	
	G7D												○		○	
	D3C			○	○	○	○	○	○		○		○		○	
	D7D												○		○	
(註) 自動受信を目的とする電信のうちモールス符号によるものを除く。																

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成15年度会費につきましても早急に納入をお願いします。
会報等印刷発送だけで会費の半分以上を使っています。会費が未納の方は納入してくれている会員の方に負担をかけています。ぜひよろしくお願いします。

JARL 香川クラブ報

発行責任者

JA5AHM

天野 英弘

編集者

JH5LYW

三好 伸幸

JH5WMN

山口 博司

JE5PBO

岡田 光